

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|--|---------|---|--------------|
| 社会保障Ⅱ Social Security II | | 1年・2年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 2単位 | 講義 | 選択 | (社会福祉士受験資格必修、社会福祉主事任用資格に係る科目、ファイナンシャルプランナー資格必修) | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 資格要件になっているユニット履修者は当該ユニットの関連科目 | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 吉田 志保 | 福祉棟 | 授業以外の時間 | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>「社会保障Ⅱ」では、「社会保障Ⅰ」で学んだ社会保障の基本的な仕組みを踏まえて、生活保護制度、労働保険制度、介護保険制度等を学習する。新聞報道における社会保障の話題や課題について意見を述べるができること。自分と社会の関わりを具体的にとらえることができる。</p> | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| <p>①取り上げる制度の目的、種類、仕組み、給付内容を説明できるようにする。 ②社会保障制度の現状や課題について挙げるができるようにする。 ③新聞やニュースの情報を得て、自ら社会保障制度の課題について考え、意見を述べるができるようにする。 ④新しい社会保障制度が必要となる社会背景を説明できるようにする。</p> | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| <p>テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。</p> | | | | |
| 学習の成果（学習成果） | | | | |
| <p>社会保障制度の特性や活用について説明でき、変わりゆく社会と新しい社会保障制度の関係を述べるができる。</p> | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等）、社会保障Ⅰのおさらい | | | |
| 第2回目 | 社会福祉制度① 福祉サービス | | | |
| 第3回目 | 社会福祉制度② 社会手当 | | | |
| 第4回目 | 雇用保険①：失業とは、雇用保険の目的、被保険者と保険料、財源 | | | |
| 第5回目 | 雇用保険②：保険給付 | | | |
| 第6回目 | 雇用保険③：雇用保険事業、育児・介護休業と社会保障、雇用保険の今後の課題 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 第7回目 | 労働災害補償保険①：労災保険の特徴、労災補償責任との関係、保険者 | |
| 第8回目 | 労働災害補償保険②：適用事業と保険料 | |
| 第9回目 | 労働災害補償保険③：保険給付 | |
| 第10回目 | 介護保険制度①：介護サービスの保障、保険者、被保険者と保険料 | |
| 第11回目 | 介護保険制度②：保険給付 | |
| 第12回目 | 介護保険制度③：介護提供体制、権利擁護 | |
| 第13回目 | 社会保険と民間保険／今後の社会保障の課題 課題レポート「社会保障関連記事を読み解く」提出 | |
| 第14回目 | 社会保障の歴史と構造 | |
| 第15回目 | 課題レポートに基づくグループディスカッションとまとめ | |
| 事前・事後学習 | ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者や担任に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。 | |
| 成績評価の方法と基準 | | |
| | 評価の領域 | 割合 |
| | | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | 20% | 以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。 |
| レポート | 15% | 授業で学んだ知識を活かし、記事の内容が理解されていること。自分なりの考え・意見を含め作成されていること。 |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | | |
| 試験 | 65% | ○×形式、穴埋め、事例問題等で出題し、知識及び内容の理解を確認する。 |
| 発表内容（態度含む） | | |
| その他 | | |
| 教科書と参考図書 | | |
| 教科書：『はじめての社会保障～福祉を学ぶ人へ / 椋野美智子・田中耕太郎著』 有斐閣（社会保障Ⅰと同じ） | | |
| 履修上の留意点・ルール | | |
| 私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 資料のデジタル化を禁止します。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合には、退出を求めることがあります。 | | |